Workshop ワークショップ　『世界から飢餓を終わらせるための30の方法』

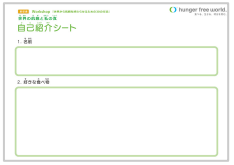
hunger free world
食べる、生きる、明日を育む。

進行表　世界の飢餓と私の食

基礎編

ねらい

「飢餓」という問題を知り、正しく理解をすることで、
飢餓のない世界を創るために何ができるのかを考えるきっかけをつくる。

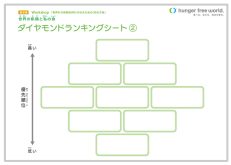
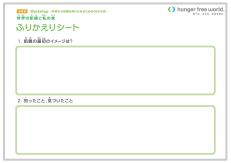
時間	分	概要	内容	備品リスト	補足説明
0:00	5	**概要** **ルール説明**	1. 今回のワークショップの目的やタイムラインについて紹介。	• パソコン • プロジェクター	
0:05	5	**グループ分け** **自己紹介**	1. 自己紹介カードを記入。 2. グループ内で、自己紹介カードに書いた内容（名前、好きな食べ物）を発表。 →　参加者が話しやすい雰囲気をつくる。	• 自己紹介カード×参加人数 • 黒サインペン×参加人数	• 人数が均等になるようにグループ分け 
0:10	20	**グループワーク①** **飢餓ってどんなこと？**	1. 「飢餓」と聞いてイメージすること、知っていることを、各自で付箋に書き出す。 2. 各グループ内で順番に発表し、模造紙に貼る。 3. 関係することがあれば、矢印を引いたり、丸で囲んだりする。	• 付箋、黒サインペン×参加人数 • 模造紙、カラーサインペン×グループ数	• 「世界から飢餓を終わらせるための30の方法」第１章 01 飢餓ってどんなこと？ (p9-10) 参照。 • 付箋に書き出す内容は質より量。思いついたものをどんどん書き出してもらう。
0:30	10	**発表①**	1. 各グループごとに順番に発表してもらう。 2. 補足資料1を使って「飢餓」と「飢饉」の違いを説明する。 →　「飢餓」と「飢饉」の違い、食料が足りないのではなく、すべての人が十分に食べられるだけ生産されていることを理解してもらう。	• 補足資料１-【飢餓とは】パワーポイント	
0:40	20	**グループワーク②** **飢餓はなぜ起こる？**	1. すべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されているのになぜ飢餓が起こっているのか、各自で付箋に書き出す。 2. 各グループ内で順番に発表し、模造紙に貼る。 3. 関係することがあれば、矢印を引いたり、丸で囲んだりする。	• 付箋、黒サインペン×参加人数 • 模造紙、カラーサインペン×グループ数	• 「世界から飢餓を終わらせるための30の方法」第２章 (p22-45) 参照。 • 付箋に書き出す内容は質より量。思いついたものをどんどん書き出してもらう。

Workshop ワークショップ　『世界から飢餓を終わらせるための30の方法』

進行表　世界の飢餓と私の食

hunger free world
食べる、生きる、明日を育む。

基礎編

時間	分	概要	内容	備品リスト	補足説明
1:00	10	**発表②**	1. 各グループごとに順番に発表。 2. 足りない視点があれば補足資料２を使って説明する。 →　飢餓が起こる背景にはいろいろな原因があること、日本に住む私たちの暮らしとも無関係ではないことに気づいてもらう。	・補足資料２-【飢餓はなぜ起こるの？】パワーポイント	
1:10	30	**グループワーク③ 飢餓のない未来の世界を創るには？**	1. すべての人が十分に食べられるようにするにはどのような世界や未来にすればいいのか、ダイヤモンドランキングシート①に書き出す。 2. 飢餓のない理想の世界や未来を実現するためにやりたいことを９つ付箋に書き出す。 3. 付箋に書いた内容に優先順位をつけて、ダイヤモンドランキングシート②の図に貼り付ける。	● ダイヤモンドランキングシート①×参加人数 ● ダイヤモンドランキングシート②×参加人数 ● 付箋、黒サインペン×参加人数	● イメージするのが難しければ、「20年後」「30年後」「自分に家族や子どもができる頃」などの具体的な年数や状況を提示する。 
1:40	10	**発表③**	1. 何人かにダイアモンドランキングを発表してもらう。 →　飢餓のない理想の世界や未来はどのようなものなのか、それを実現するためにはどんなことができるのかイメージをもってもらう。		
1:50	10	**ふりかえりシート記入　まとめ**	1. 各自でふりかえりシートに記入する。 →　参加者のふりかえりシートをもとに、ワークショップの目的が達成できたかどうか確認する。	● ふりかえりシート、黒サインペン×参加人数	
2:00		**終了**			